

2007年6月25日

2007年3月期決算について

1. 事業概況

当期におけるわが国経済は、公共投資が引き続き低調に推移し個人消費の伸びに鈍化が見られたものの、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加に支えられ、景気は回復を続けました。建設業界におきましては、民間需要に関しては引き続き堅調に推移しましたが、公共工事は依然減少しており、受注環境は総じて厳しいものとなっています。

このような状況下、当期は2005年10月からのホールディング体制移行による成果が現れ、当社グループの連結業績は、売上高は前期比88.6%増の2,816,970千円、営業利益は96,142千円、経常利益は54,184千円となりました。また、当社グループのホールディングカンパニーである株式会社プランテックアソシエイツにおいては財務体質の強化を目的とした第三者割当増資を実施致しました。また、2005年11月に発覚したいわゆる「構造計算書偽造問題」により改めて建築設計監理の品質レベルの向上について認識を新たにし、株式会社プランテック総合計画事務所において『ISO9001(2000年版)』を認証取得するなど、社内整備を今後も行ってまいります。

グループ会社の事業概要は次のとおりでございます。

(設計監理)

株式会社プランテック総合計画事務所は、大型プロジェクトや新規クライアントからの受注等が売上増に寄与致しました。また、株式会社プランテックスタイルが本格的に軌道にのり新たなブランドとして認知されはじめたことも売上増の一因であります。

(コンサルティング)

株式会社プランテックコンサルティングは生産施設のコンストラクションマネジメント業務、建築設計に付帯する支援業務、また不動産大型仲介の受注を致しました。

(その他事業)

株式会社クエリソリューションズはIT環境構築業務やシステム受託開発を行っております。

当社グループでは、建築ソリューションのリーダーカンパニーを目指し、建築設計に限定されない幅広い見識を習得する為に、社外の有識者を定期的に講演に招くなどグループ全体での人材育成を引き続き実施してまいります。今後も「カスタマーオリエンテッド」の経営理念に基づいて所員一同努力していく所存でございます。

2. 財務概要

プランテックグループ(連結)

(単位:千円)	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
2007年3月期	2,816,970	96,142	54,184	18,203

3. 当期の主な完成工事

- ・ スタンレー電気株式会社 秦野製作所
- ・ ソニー生命保険株式会社 SonyCity
- ・ 株式会社商船三井 研修棟
- ・ オリックス不動産株式会社 ホテルミクラス
- ・ 日産自動車株式会社 デザインセンター
- ・ アーバンコーポレーション アーバンビュー宇品フェアコースト

以上